



# ～子ども達の未来のために～

## 小中学校再編等審議会からのお知らせ

嵐山町立小中学校再編等審議会では嵐山町長及び嵐山町教育委員会の諮問を受け、嵐山町立小中学校の将来を見据えた学校の在り方について、昨年の10月から審議しています。この度、答申の素案を作成しましたのでご紹介します。

### 答申素案

 **小学校3校を1校に再編統合する**       **中学校2校を1校に再編統合する**

 **新しい学校の場所は現在の菅谷小学校及び菅谷中学校の場所とする**

#### ■学校規模の維持について

児童生徒の人数が減っているために損なわれつつある望ましい教育環境を向上させるため、現在の小学校3校を1校に再編統合、現在の中学校2校を1校に再編統合し、一定の学校規模を維持すること。

#### ■通学について

町内全ての小学校と中学校をそれぞれ1校に再編統合するため、児童生徒の通学については遠距離通学となるケースが想定される。学校の再編統合により児童生徒の通学が大きな負担とならないよう、スクールバス等による通学支援は必須であると考えます。

#### ■学校施設について

現在の菅谷小学校及び菅谷中学校の校舎は築45年以上経過しており、学校施設の老朽化対策は大きな課題となっている。小中学校を再編統合するにあたり、新小学校及び新中学校の校舎は児童生徒が安全で快適な学校生活を送ることができる校舎でなくてはならない。また、ICT教育に対応し、新時代の学校教育に対応可能な設備を備えていることも必須である。

校舎の整備については長寿命化改修、改築、新築等さまざまな方法の中から最適な方法により整備すること。

#### ■再編の時期について

小学校は七郷小学校と志賀小学校が国の示す適正規模の基準を下回っていること、特に七郷小学校では令和9年度に複式学級となる可能性が高いことからできるだけ早い時期に再編統合すること。

中学校においても菅谷中学校・玉ノ岡中学校ともに国が示す適正規模の基準を下回っており、科目によっては正規雇用の教員が不足している現状を早急に解決するため、できるだけ早い時期に再編統合し、適正な教員配置を実現すること。

これはあくまでも素案です。今後の審議によって修正や変更のある場合があります。

ご意見ご質問などのある方は、お近くの審議会委員、または町ホームページ内「町政のご意見箱」、役場、図書館、ふれあい交流センター、北部交流センター、B&G海洋センターに設置されている町民の声ボックスへお願いします。なお、審議会に関する資料は、町ホームページによりご覧ください。